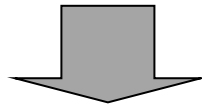


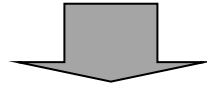
平成30年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（図工科）

	低学年	中学年	高学年
身に付けさせたい力	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しみながら、進んで表したり見たりする態度やつくりだす力 ○造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせる力 ○身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取る力 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しみながら、進んで表現したり鑑賞したりする態度やつくりだす力 ○材料などから豊かな発想をし、手や全体を十分に働かせ、表し方を工夫する力 ○身近にある作品などから、よさや面白さを感じとる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しみながら、創造的に表現したり鑑賞したりする態度やつくりだす力 ○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想をし、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫する力 ○親しみのある作品などから、よさや美しさを感じる力、それらを大切にしようとする態度



	低学年	中学年	高学年
児童の実態	1年	3年	5年
	2年	4年	6年

1年	<ul style="list-style-type: none"> ○図工に対して楽しく取り組める児童が多い。友達を褒める姿も見られる。 ○技能的な個人差や得手不得手はあるが、自分なりに取り組んでみようとする前向きな姿勢が感じられる。 ○数名の児童は離席や私語、手遊びが継続してみられる。 ○経験の個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いて学習に取り組んでいる。 ○既習事項をよく生かそうとしたり、新しいことにも進んで取り組もうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲をもって課題に取り組める児童が多い。技能面は個人差がある。 ○材料の形、色、質感の特性を生かし、見通しをもって表現活動に生かすことができる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく取り組める児童が多い一方で、自分なりの表現や思いが表しづらい児童が数名みられる。多くは苦手意識からくるようである。 ○特定の事柄に強く愛着をもったり追求したりすることができる。 ○友達と楽しんだり作る喜びを感じたりしている姿が多く見られる。 ○自信のない言葉を自分から言ったりする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○なんにでも前向きにとらえ、取り組んでみようとする意欲が感じられる。 ○友達との仲が深まってきて、より良い面がある一方、馴れ合ってしまう面もある。 ○既習事項を生かして活動しようとしている。 ○片づけが徹底できていない。 ○忘れ物が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に前向きに、自分らしく素直に表現しようとする姿勢がみられる。 ○友達のよさを感じ取り、認め合ったり、自分に生かしたりできる ○自分なりの経験や感性を生かして考え、見通しをもって取り組もうとしている児童が多い。



		低学年	中学年	高学年		
授業改善の具体的な手立て	1 年	<p>○紙や身近にある素材を中心に、のり・ハサミなどの道具などの材料の基本的な扱い方について指導する。</p> <p>○生活体験とできるだけ直結した題材や活動を取り入れる。</p> <p>○基礎・基本をおさえながら造形活動を楽しみ、作ったもので遊ぶ題材を設定する。</p> <p>○自他の作品の良さを共感的・受容的に鑑賞できる機会を設定する。</p> <p>○道具については使いやすいように場を工夫する。</p>	3 年	<p>○木材や身近にある素材を中心にそれを切ったり、つなげたりするためのノコギリ・金槌などの道具の基本的な扱い方について指導する。</p> <p>○題材に合わせた学習形態と場を設定する。</p> <p>○自他の作品の良さを共感的・受容的に鑑賞できる機会を設定する。</p> <p>○個人指導をきめ細かにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つますきへのアドバイス ・明確な学習のめやすの提示 ・学習のきまりの徹底 <p>○道具の扱いは、安全に使用できるよう厳しく指導する。</p>	5 年	<p>○これまで扱ってきた素材に加えて木材やはりがねなどの素材を中心に、それを切ったり、つなげたりするための用具の基本的な扱い方について指導する。</p> <p>○道具の扱いは、安全に使用するよう厳しく指導する。</p> <p>○客観的に自己を見つめ、友達との性格の違いなどもある程度理解できるようになることを踏まえた題材を設定する。</p> <p>○自他の作品の良さを共感的・受容的に鑑賞できる機会を設定する。</p> <p>○よりきめ細かな個人指導を行う。</p>
	2 年	<p>○紙や身近にある素材を中心に、筆・ハサミなどの道具などの材料基本的な扱い方について指導する。</p> <p>○題材に合わせてグループ学習の形態も取り入れ、友達のアイディアに触れたり取り入れたりとすることができるようにする。</p> <p>○鑑賞の時間を確保し、友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、今後の作品づくりにつなげていくことができるようにする。</p>	4 年	<p>○木材や身近にある素材を中心にそれを切ったり、つなげたりするためのノコギリ・金槌などの道具の基本的な扱い方について指導する。</p> <p>○道具の扱いは、安全に使用するよう厳しく指導する。</p> <p>○この時期の表現と鑑賞は表裏一体であるので、自分や友達がつくった作品を自然な形で振り返り、その良さを共感的に話し合わせるようにする。また、国立近代美術館工芸館に鑑賞する機会を設定する。</p> <p>○個人指導をきめ細かにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つますきへのアドバイス ・明確な学習のめやすの提示 ・学習のきまりの徹底 	6 年	<p>○個々の表現に合った素材選びや技法を自ら考え、制作活動ができる。</p> <p>○道具の扱いは、安全に使用するよう厳しく指導する。</p> <p>○これまでに蓄積した表現方法、技法、材料などを総合的に働かせた新しい発想や新たな試みに取り組ませる。</p> <p>○自他の作品の良さを共感的・受容的に鑑賞できる姿勢・態度の育成と美術館鑑賞の芸術作品に触れる機会をつくる。</p> <p>○生涯学習の視点から優れた美術作品に興味・関心をもつように題材と関連づけながら作品を紹介していく。</p>